

研究構想図

《学校教育目標》

◎よく考える子 ・思いやりのある子 ・たくましい子

《児童の実態》

学ぶ意欲が低いわけではないが、自分の考えを表現することが苦手な児童が多い。その背景として、どの言葉に着目して教材を読んだらよいか分からなかったり、語彙力が低かったりすることが考えられる。

《研究主題》 「進んで自分の考えを表現する児童の育成」

～問いを大切に「読むこと」の授業を通して～

《研究仮説》

児童の疑問や関心が生かされるような、単元計画・学習計画・学習活動の工夫により、児童は問いをもち主体的に「読むこと」の学習に取り組むことができる。また、児童が読み取ったことをもとに自分なりの考えをもつことができれば、「進んで自分の考えを表現する児童の育成」を図ることができる。本年度は、学校教育目標の「思いやりのある子供」の育成を鑑み、文学作品を「読むこと」の研究に焦点化する。

研究内容

児童が主体的に読むための単元計画の工夫

- ・児童が学ぶ意欲や見通しをもつことができる発問の工夫。
- ・児童の疑問や関心をもとにした「問い」や学習計画の設定。
- ・児童が自己の学びを振り返る時間の充実。

児童が考えをもち表現できる学習過程の工夫

- ・児童が文章の構造や内容を把握し、進んで考えをもてる学習活動の工夫。
- ・児童が文章を読んで感じたこと、考えたことを伝え合うことのできる手立て。

児童の言葉の力を高める手立て

- ・語彙力の育成の工夫
- ・ICTの活用
- ・日々の読書活動の推進

例えば…俳句大会、読み聞かせ(教員やたてわり)。

《目指す子供の姿》

感じたり考えたりしたことを進んで表現できる子供

